



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol.77

久遠塾 ☎ 090-3489-2754 13:00~20:00  
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

## 『SPI3入門テスト』

を実施しました！

去る5月22日(金)に模擬試験を実施しました。久遠塾では、6年度から生徒の要望により、SPI講習を開講していますが、模試の実施は今回が初めてです。

さて、そもそも「SPI3」は、就職試験の際、能力検査と性格検査の2つの側面から、応募者の基礎学力や性格特性を総合的に測定する適性検査です。多くの民間企業の採用選考における評価指標として活用されています。このSPIは総合適性検査の略称で、「3」はバージョンを表し、2013年1月に登場した最新版です。さらに、SPI3では、能力と性格を合わせて評価すること

で、企業と応募者とのミスマッチを回避しやすくなったことが特徴です。

また、SPI3は、対象者ごとに種類が異なり、最後に付くアルファベットによって区別されます。大きく分けて、社会人向けの「G」、大卒採用向けの「U」、高卒採用向けの「H」の3種類です。高卒新採用で高校生が受験するのは、「SPI3-H」となります。

ところで、SPI3の難易度・合格ラインはというと、SPI3-Hで出題される問題は、中学から高校までの基礎的なレベルのため、難易度自体はそれほど高くありません。しっかりと対策を行えば十分に対応できる内容です。ただし、問題数が多く制限時間が設けられているため、スピードと正確さの両方が求められる点に注意が必要です。なお、SPI3には明確な合格ラインがなく、企業ごとに独自の基準が設けられています。その基準は非公開であるため一概にはいえませんが、一般的には、正答率6〜7割以上が1つの目安といわれています。しかしながら、業界や企業の選考方針によって求められる基準点は異なります。特に有名企業や競争率の高い企業では、より高い得点が求められる傾向がある

ため、万全な対策をして臨むことが重要です。

さて、肝心の初めての模試を受験した3人の生徒たちですが、「入門編」ということもあり、全員6割以上の得点率でした。なお、模試の受験料は町の補助により無料です。また、模試の発注は高校側で行いますが、実施計画や試験監督等は塾スタッフが行っています。



▲SPI3模試に取り組む生徒

## 「地域みらい留学合同説明会」

に参加しました！

白糠高校では全国からの生徒募集の取り組みとして「地域みらい留学事業」に参画しており、5月24日(日)は、オンラインの「地域みらい留学

合同説明会」の補助スタッフとして中川講師が入りました。また、6月20日(土)・21日(日)の「地域みらいフェスin東京会場」の引率団としても出席しました。当日は、2日間で計15組(土曜日・9組、日曜日・6組)の中学生と保護者が白糠高校のブースを訪れました。参加者は、あらかじめバドミントンや久遠塾、給食などに興味を持って参加した人々ばかりでした。当日は、校長先生・生徒2人・教育委員会および塾講師2人の計5人で協力して説明や呼び込みを行い、白糠高校の魅力をPRしました。

なお、説明を受けた方のうち、2組が、今後白糠高校を実際に訪問して説明を受ける予定です。



▲ブースを訪れた家族に白糠高校の魅力を紹介